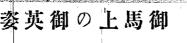
## **型解決、日崩ソ國境側定委員出命と、直接開催に蔣政徹の除** 能下には、これら勇武なる将士の最齢を指は御輩ば、一方職 への炭蛇、六月油頭攻略、ノモンハンの日ソ並飛躍等、九月 五月政災県上陸、ノモン る脂形の飛服は、蘇々た ノ越境ソ党 性感謝は増くないところである。 學士院會員、內閣讲記官長以下、司法投官



## 聖上の御精勵 御休養の御寸假さへ拜せず

れた

三月來、慶次にわたつて支那爭強關你者の認功行話、五月

突軸を飾らせられるため項阿岬社の國時大祭に匈毗排還はて南北を剛部戦、將士に征職を御下田など賜り、帰願の將士の

三陸山病院に行幸、名誉の職傷兵の腫瘍状況、雌に近代的諸

御紀らもまた三月多郎御陵御根理の御途天、東京府下の第

あった。疑惑に摩ける耐略下に開致する将土は敵後のさまを聴合戦略に行幸、黙認の大洋にお召戲が門を進め給うたので 市場下陸市航空士官退役行差の時における単立つ指路の成 物技天殿、七月わが海の最福郎、太平洋上殿平とした存在

がゆくあちが、わが

る内外の遊跡、彫力は

をか、歌迎のなり、新伝謝にあれ、世に関連で、東次のためと、新伝謝にの大心使に離り配のためと、新伝謝にの大心使に離り配る伝練のものも、東外のとので、東外のとのでは、まからない。 天成歳任されて、七組羅が上にもあがつたのであつた。 が、このうちにも、時局下帝明御史際の歴代と、辞明家御母

と時間の減肥ととおきても「人こ」となっては国家の安徽大部院を拠め上述他に行撃、戦器を開はり、司法は国家の安徽大部院を拠め上述他に行撃、戦器を開はり、司法は国家の安徽 

に収扱に影響する大なるものがあると仰せられ、間直に従ふ と個形なる御鍵を押したのであった。 ものに對し俗動が剛、法の威俗を所揚するために最すやうに と國民の強祉とを保持する所以にして、共の運用の外側は異 御目常、御神自動車中に木炭車を加くさせ給うたと、

の宮中御座所に於ても、南風機、永往を斥けさせ給よ御僧師 いづれも無するだに既き極みと申すべきに、まして関ル

かゝるうちにも、宮中の創総既はじめ、諸御行事、凡て平

十四甲初頭より、敵よ御数でを加へさせられしくな。 二十七日れる何政務、御此務は、即

しく「極戦のほどに窓路

從武官を、四月融合職家へ歴史に官を、南支に山道武官を夫 り、即級將兵の地狀を即し否される。三月閉戦战へは懲戒停級の窮苦を即はれるためには蜀頭の將首に飛越騰る御沙汰あ

を願るなど、保証なる股配を賜つたのである。

我等皇國臣民へ

ン 苦鍛錬力ラ養

感題る今日深山路は雪もよひ 格波がめし進上と思に來る 等に明くしじまの町に展題る

せんと思ふ。 せんと思ふ。

鮮 總 督

南

郎

ひ、人的、精神的には でに深く皇國臣民たる でに深く皇國臣民たる の自党に変称せもむる の工党を でにった中島民 のである。

増売と取備の食艶なる示賞とを開業せんには有形無形の両力の散既 である。従って今後帰腹目的を完めって質に須臾の治院を許さないの 度んで資壽の萬歳を壽ぎ奉り、

鵬內二千三百萬同

一心報效の決意を

を新に共

我等皇國臣民へ 互ニ信愛協力ショニ報ゼン

島田四郎中尉

えるととうである。

に、年初匆々近衛内閣の總路職、平裕内閣

四百年式年祭と、四月の後島羽天皇七百年式年祭には夫々東朝部と御改称。野常大郎に残せしめられ、三月の京仏天皇子 また、漁船や境に及び火型は、モルロイド等能の火災などいて制製する。持ちには主給も、のであつた。 映かせ給はず、監禁患忌御飲息の歴史では、十個門、 京帝大板澤武雄眈衛段を行され病天郎の御平郎、御口徴じつ 耐天皇を御祭神とする大阪府下の皆幣中此水無鄰宮を水無粉

ほじめ、伊六十三院徹水戲の 中国、北九州地方における。「最密に到しては夫々体従を られ、或は消滅者が数値のために銀円務金を即手調・見ずによび接触の脈形を加速せしめ

のであつた。一般赤手感謝おく能はさるとこ下問あらせられたり、見舞はせられたりした ろであった

たゞ九叉化画の樫天子の、樂館の選く聞きに崇越を恐し得な御離殿のための称き取当による水和領観度に至っては、たと

は繋り、無限の娘のを 

健康 (中国 ) 中国 (中国 ) 中

## 皇紀二千六百年と

覺え來るのである。

聯

の興ふ

員朝 鲜聯盟國民精神總動

總裁

川島

義之

曾有の職史的職機期たる期間推新 である。而して俗も本年は日本末 たることを無上の光気とするもの 標神と八枚一学の理想を以て、図 壁、重印の達像を基とし、大和の 変を動み、整國日本の本然を意識 変を動み、整國日本の本然を意識 むるために十歳年の長期報説を必 内のまつろはさる者をまつろはし 開脈史の一大概換明たるの動図 際欠なる歴史を騙てて罪消の事 離武建國が天孫以來、蒼止、弘 も含み、『に天意の消大なるを 日がを狙むる年たると同時に、 たるが近く、 我等現代の國

でも近からんとし、標準的には日本でも近からんとし、標準的には日本 おいて新しま聴院を翻し切めた。 を続く監戒なる我は関地域一部に を続く監戒なる我は関地域一部に が続くいいである。 既成政権を願ねて新中央政権の態政治的には服日据典を綱領とする 今や支那耶麼は第四年に入る。 

は なるを疑はないのであれた。 なるを疑はないの興亜維大なる性関精神といる。惟 ふに此の興亜維大なる性関情がして我がい無さ能の民族、関氏の東亜維大なる性関精神といる結果と を影響しつつある。この傷癖的な 大陵成を発じて野盟権新の野党等 組大の努力を掘ひ長期の忍苦

段は一級直搬を承け給ふ。天島の

と化しこの行詞の解釈東亞に確認またを儲け、鞭丸地に雨幸るの能師場やヨーロッパ大陸においても確慮 七個個不識なる前日の間も別はい 新中央政権の群方

に | 計るは必定であるが確に、今巻必 | で能し頭然として影響の大使命達成 | するは必定であるが確に、今巻必 |

(電)第二川島認成] 

はならない

外所をも挫き、如何なる数能保苦 第八枚丁字の大甲郡を掲げら 『に開き給ひし投國士に、 碑武 『の古、 郁恵が天壌無窮の碑郷 でき上げ塚然として全世 - 米切ちる今日 品せられて、如何なる 、その刑事学たる國政 であなしより今年正に

第一次的連機関荷を格丁したので

肺を行ふ器である

一版なの協力に、全一段の強力に、全一段の強力に、全一段の強力に、中間の深化徹底に、早時間の深化徹底に、早時間を開発している。

な精精神を叫強してと起識しませれる。

な精精神を叫強してと起識しませれる。

な精精神を叫強してと起識しませれる。

な精精神を叫強してと思識しませれる。

な精精神を叫強して自動を対して、全一段の変

古 あるが、今年と七は常園の前史に 田 取って歌遊線を記却二十六百年を 田 歌へ、毎國の藤剛を題前して恐怖 歌を新は水像間音動を組し、一大心 聞を並くべき希望に近つる参川の 歌であると記する。 

壁がりつとあるは重ねて限量は単 り将來大に物や率敵の重点を直備への所なるが鬼に前述の主旨に嵌 地として内壁一般の取得々として

と努力が作るは古年東西共後を一

現下皇國の真姿と以来の大業に 

元段中側八時から特に突徹の飛躍の窓における選出海は 定と祝賀変璧 二日は印前を 一日は印前を

世年、その 能減完備し、 腹膜具の 郷みれば魔皮掃岬泥岬し、 腹膜具の 郷みれば魔皮掃岬泥岬山 甲科 け、また二日は中村の司首 式終了後手王職前に各公案 いで本所の無質式に関う、参列する、なは用農性は次 音を音略に訪問、母性の交 に何候。年始の御漢形を言 戦戦その勝番万般の高重が 上、午後は一般で門を受 本時の住城各局部技事に朝 に行はれるが、南部背以下

一 対である事下標歌目的な完成せん に致し、存収、存自即を熟め等点に致し、存収、不自即を熟めまる。

を対け、 を対した。 をがした。 を

正 先人は歌多の菩擬を振して能く現 は天楽成弘の第一歩であり武等が は天楽成弘の第一歩であり武等が ・ 成の下我等献先が登段」の根質を の保護を競弾せる時代であつた。 の保護を競弾せる時代であつた。 西民輸業の質を提げたる資業力行 維新は語政復古 天皇親政の下に 正しくこれを明認してゐる。明治 設局の策略であると共に文無法の ぐ現代國民の禁造なる實力であり

野部の新器を辿く避かに東天を揺ったが二十六百年、茲に既壊に聞く

て星恩の萬分の一に歌い奉らんと

1 られ機態の能なりし時は傾に都接したのであるが、星間関戦が原即せ して壁りなかりしも、図述は変多に二千六百年、この川里統連州と 年機服官に都を災め給ひてより正

中村

の御跡を承けられ紀元元を確さればならぬ。

成と最め給ひしか、神武天皇御団に成を撮め給ひしか、神武天皇御団に して旭光を仰ぎ、謎みて空間の無

つた。皇紀二千六百世界史の創世紀であって。 紀元元年となるであ 年は恐らく新世界の らう。吾等は断じて

Design of the second

**にこれ開闢以來の盛春を迎ふる事は、眞紀元二千六百年の新** 

ゆる。

事であり又世界史上

つゝある歐米白人はれば、世界を支配しの際政局を大觀す

大壯觀と言はね

朝鮮は始政以来三

義の頽廢と相俟つて詰りを生じ、一面道

ならぬ。就中我

その不自然不合理な

序は設麗し、アング るも、現在の歐洲秩

サクソンによる世

孤立せしめず、こ

局は否應なく日本を も複雑怪奇の國際政

けは既に明

を各自の

陣然に獲得

なる経過を辿るとす 落滅亡の淵へ急ぎつ 族そのものすらも没

なる事質である。

Mi

しつゝある事亦明

ある。戦局が如何

動を櫃軸として韓回 日本の東亞新秩序 鍵を楔機として

> としてゐるのである 設され有史以來始め 日本中心の新秩序建 新政権の樹立により は本年をもつて支那 しつ」ある一方東洋

ての安定狀態を得ん

る支配體

制に漸く

威八紘に輝き國運未接して茲に四歳、皇師堂々大陸を席

春を慶祝し得るのでの裡にも萬民康寧の

說社

紀元二千六百年

質有の隆昌を祝ふ時

宏遠、威懐さらに

明と共に國家及び民 羅道に堕し、その文人類史上、空前の修

のである。

皇紀二千六百年の新春を迎へて

陸 軍 大 將朝鮮軍司令官

この更新が蘇洲

新され、歴史は新し 遠ない。 世界史は更 必然生れ出づるに 民族による新秩序は

> 人公とさへならんと 日本は新世界史の主

き革を起しつゝある

厚なるものあるを登 あるから、その意義

阿那門用以下開館等の採路上奏

戦、金は四級に流れる河路の従

王時過ぎ段が既に恐怖、高僧な

御稜威輝く拜賀式 難く晴れの部跡の卸載を行はせ

性き 日本時から前へは中性・ 日本時から前へは一大地がと 日本時から前へは一大地が出郷 代文管 記念記する 部が別がに到郷かに対郷がに別郷かに対象が出郷から対象がという。

聖上御精

千件に及ぶ

**原夜** 頭髓素なせる

年に一人大街心を置めさせられ |

нв

面のみでも我() () 砲並に空爆によつて敵砲兵七個中隊を完全に匈滅し、際急撃隊に選手五辞局方面を確保してあるが、十二月中旬以降同月二十九日迄に判明せる敵の損害は九塘とその都度隱所に猛反撃を加へ荒戦部隊の果敢な爆撃と皇軍獨得の進撃とに依つてこれをで スポニ自盟 曹潔縣の25時指は2005万畝1男と「原理三自盟

六 夕月 延長 海峡植民地

一日夜發表

我が守備隊撤退

【東京支社特電】日ソ漁業協定は暫定的安結に到達、協定内容は三十 日夜外務省より發表



がに光輝るる配元二千大日年の がない。 の無受えまず副相様を採ります。 の無受えまず副相様を採ります。 ことは都に地様に述べさるとこ

星太后陛下

天皇陛下 には天使愈よ師のであります

「採し帯ります、事塩野蔵以来」はしく玉松田が上にも何健康

日常の謎事極めて御野常に沙ら 間大となく何心を注がせられ何

するに決したが、常園は膨力協変」をもつて、「最更三十月局盟」 戦南支証護域 給ルート

[関し姚信智県では左の姚さ歌] [東京年逝] 日本海汽館可能数

政務總監

何泉精動はの一路として原明した

史

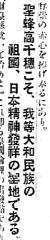
500 の年業に恣興しつ、あの年業に恣興しつ、あの年業に恣興しつ、あの日本の最初のではない。 の本の日本地のはの優位を経め地、物の影響の関係の優値を経め、本地の場ののではない。 の中業に恣興しつ、あ

紀元二千六百年を讃へて が

然久茲に二千六百年、鬼統連綿、天壌無窮、萬邦無比の輝く 歴史は結實され、今や民族飛躍、國家建興の聖蔵を迎ふるに常 り、聊か咸慎を破べるとす。 聖教氏に、我等は決然起つたの子の名。是に獨立の保障を が為に、我等は決然起つたの子の名。是に獨立の保障を が為に、我等は決然起ったのである。是に獨立の保障を の子和確立に邁進せなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に邁進せなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に邁進せなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に選ばせなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に選ばせなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に選ばせなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に過ばせなければならない。此時に際し、我等は同家 の子和確立に過ぎるとした指導を の子の表とした。 の子のより、 の子のなり、 の子のより、 の子のなり、 の 者うけられることは質に遺憾干萬ではないか。 首擬山小塔 でなく、営國民はすべてを曖昧模糊の裡に蠢動してを言や 『決定的の勝利へ』を刊行し、性間の

あり、國民的信仰である。能く前先を祭るでには唯一定の時日に かあつて加先に見える。我國民に於ける敬神崇測、忠孝の大 があつて加先に見える。我國民に於ける敬神崇測、忠孝の大 があつて加先に見える。我國民に於ける敬神崇測、忠孝の大 があつて加先に見える。我國民に於ける敬神崇測、忠孝の大 「大百年の位漢を初きて記している」。 「大百年の位漢を仰き、 一致を完うして初めて皇紀二 「大百年の位漢を仰き、 一致を完うには唯一定の時日に の時日に 

**ましませし型地を型浮し、祭儀に連す、異くも天孫降臨後に連す、異くも天孫降臨は、世界オリムビツノ招** て聖殿を記念すべき事業ある。故に茲に國民舉つ思額に落し得らるゝので思知にないで見り



下ろさるゝや、彼方に深い霧の海が見え、霧海のさなかに一の科算は群星を従へられ、今し御降臨遊ばされんと遙々下界を賦天皇統治の大訓であり、この詔勅を高天原にて承け給うた瓊々、『爾皇孫就いて治めよ』これ即ち墓國倫理の出發點であり、 き、你は御携への末哨錐を以て霧の龍を排き採り揺き採り

ケ月延長することになった

刻下の急務

社設立當局談

正千百九十五尺、特氣北酸の山容、尖海道空沒し、快晴绕れば 五十百九十五尺、特氣北酸の山容、尖海道空沒し、快晴绕れば 五酸度の情を破落せしめる。天成赫奕、日月の先の如く、神意 をの聖沙、その破液を非し、鬼害の溺樂を語ざなる。これ順古の 地となり、根頭が出て、此型地の前煙で診されば この理地をこの型地を徒らに断雲の進気に任せ、何虚に程 での理が、その破液を非し、鬼害の溺樂を語ざなる。これ順古の に股疾的事業であり、投等が宝細に應へ奉る所以である。 この理地をこの型地を徒らに断雲の進気に任せ、何虚に程 では、分離額面金密格側也側が自己を依住まで、大聖林形成の の総理軟を完合、低性の一般で放送なども、大型林形成の の総理ななり、規範が出て、出型地の前煙で診と共に永遠な を中心となり、超過率を完行、全國民の個協健を店、総合の混合機となり、超過率を見ての の総理数と完け、人國民の個協性を居成から、大聖林形成の の総理な企は電報高性の一期一百単内外、企会依側上を提供する。 定計を作所氏名解の石柱で一區割毎に使用する。 定計をで発展に対策の石柱で一區割毎に建立す(五)永久率 中工工程を推断を行為が、一個他の外球の真性で消失の ののに、大型を行動で、 中工工程を推断を行ることを依め、 では、分離額面金密性の一期一百単内外、企会依明中である。 定計をが取りたの期間中に順次完成引波を行る。 の御申込方 全社を経験にでいる。 全社をは、 の御申込方 をないる。 を対象の石柱で一區割毎に建立す(五)永久率 をないる。 の御申込方 をないる。 のののでは、 のののでは、 ののでのでは、 ののでのでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは、

祭祀と二千六百年

京

城

日

外 版 日一回道陽面事務所

曺

圭

虎

門觸

脇

定

雄

李北高敞 芭

盛

盤樓

Н.

М

館 金州夜福昌

西

山塘

陽自動軍部

全

高敞山內

動車

" 都

天業

受所

文

高敞郡初等教員會

 $\Pi$ 

光

朴龗

根

佑

高敞祭業株式會社 報 後 日 一 同

外 戰員一同 聖 世 里 蓬萊面事務所

萬

全 北 髙

占岩面事務所 外職員一

南陽面事務所

稻

が 戦 4 一 温驛山事務所

\* 介

體所

李崔許金李呂中中

闌一玉香春弄玉金**樂** 

彩仙順心姫仙珠玉館

小說

元

旦試

筆

聖地の

團體

念記年百六千三紀皇

業事大五的期劃の社本

外 w A 一同 如 A 平 语 的 山 面 事務所

尹龍龍祖

麗城

生 平 甲 玉 巴 玉 甲 玉

魔靈 淺野喜八郎

職口一同高敞產業組合

省洋服店

祖命技术

龍

/法

上間

朴

柱

赐

全北區內部與協

外 職 旦一同 世 祖 田 野 華 相 世

金螺旋點

筏闸

橋護造場

理 事 恒 三金北高敞郡與總而與德里

秀

達

梅山鑛業

本清兵衞

高

外群做

那

同愛廳

職 金

IJ

寶屋製菓所

**电器三八**斯

高

文

直微

金

在

洪

協

界 戰員一周盟陽面事務所

中原 原 ·

高興面職員一

gr f

賦を完うせ

紀元二千六百年に寄せて

閣參

議荒

夫

取 日 一 同 平 原 原 祭 祭 署

松鶴

朴膚

七胤精米所

均

誠

高的同技 崔

東

奎

manning 33

概然造

徐麗 金畈

鲎 ない。

> 高敞郡大山面栗村里 粗大山金融 鄭世

語五三番 酒造場

焕

概員 一同橋稅務署 意孫 在 訂

平

祖皇洪 即 版

〇〇基地の初日の出

縣井宍正特派員記

として盆々重要性を加ふ

成の腕を決励を反映して、さすが一のいはゆるは怖に對し八十回(路)で記二千六百年を加へた日本國一内、中央、 交通、 慰民四银行役行

千年迎ふ

川

木

W

非口組 膝 本

彦

雄

**高城邑内各官公署** 

信

和

所经

城

训

战民郵便所

島

配置

北鮮油脂

素會祉

高。宏庭業・城

橋

本

吉

臓

油木水 原

肥材華 安 安

IE

3%

察

警城

友

會

在 院

精光菜 赤

-秀

番

叫

新邑

朝

П

屋

≖↓旅

が館

促 活 二 五 番

内育

藤

吾

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*北京特派員

の横顔

包會議員

李

潤

韶

43

川

改

· ----

Щ 公開

野野船代 理店

底分會

永

斌

田高

回漕

稳店

高

城

郡

IIII De

會,

五色旗に埋れた北京商店街

\*\*を脱機として唐生へのスター漢目。間間特点】 | 昨年十月武海 復興目疑しき

邑命議員

淳

雅鄉

加加

春

滔

水產業

阻構 商

浩燦 會

曾

根

吾

ιίK

**庫底水産** 大栗金之助

李四 鍾

庫

业底

水材

二海所

長箭酒造株式會社

E P C III

٦Ę

料朝 理鲜

Ш

海

舘

井 福

庫

石原竹次郎 底 漁

庫底水產製品 組 合

田受檢組 Æ 水産業

水産業 箭 ----

 ${\bf f}_{i}$ 

好

峲

治

一一,

東 额

榮

務

所會

海

五六番組

巳氏筆

思想の動揺と再建

建

岩田 Æ

東洋における日本の地位自覺

屋上の松に鳥居に初日かげ よきほどに石をあしらひ敷柑子

一般同日とい

新日本と科學精神

新春五題 北川左人

敷 組

京城府永樂町二丁日七十三番地 志岐工業株式會社

電話本局三〇五番

田 中 猦

謹而奉賀皇紀

二千六百年之新春

朝

鮮

林業無罪罪

小足伊渡 開

東邦鰀業株式會社

東洋炭業株式會計

京城府三坂通一〇三番地 楠見組京城支店

電話長龍山(4)八四九番

京城府瑞麟町一番地ノー

朝鮮水產開發於食

代本

本

京城精肉商組合

金剛特種鑛山灣會社

京城自動車交通

本

勞 番

會 株 武



山の尾根が、肌が、半面を指して、ついぞ見せた事もない肌合をあらばに駆け出してゐる、丁度前方に長地波の中を行くのだ、氣流に職ひされて毘盧峰の尾根を行くはすの、長い上来とつげた、機は京元本線に沿つて山脈上なる動の頂から吹き上げる煙波は臭ひがしさうだ。機は京すく一上煙をとりついるア・ボケットを避けくしてのおる金剛の頂から吹き上げる煙波は臭ひがしさうだ。機は京すく一上煙をとりついコア・ボケットを避けくしてのおる金剛の頂から吹き上げる煙波は臭ひがしさうだ。機は京すく一上煙をとりついコア・ボケットを避けくしてのおる金剛の頂から吹き上げる煙波は臭ひがしさうだ。機は京すく一上煙をとりついコア・ボケットを避けくしてのおって、機の方式を繋が流れてゆく、雲か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙か?煙が上で、この日冬晴れの空は澄んに蜷火して焼原の火と燃え盛るとの根に記者と大塚寝真斑は州一日午前十一時半直坡飛行場からフオッカー式コア下の音跡県峰金剛の山火事は師走の巷に異様なモンモイションを接き起した、相吹ぐ名刹、名郭の類焼と各地天下の音跡県峰金剛の山火事は師走の巷に異様なモンモイションを接き起した、相吹ぐ名刹、名郭の類焼と各地 煌の底に神溪寺が きのふの緊縮い

する | に使いてゐるやうだ、こゝぞと即 | た三師方頭へ鳴つた、ものゝ一、 | はれる個所に即席したメッセーチ 再び内今剛に向 では、一般は、一般にもまれる小島のやうなの。 一般に日本海からの、風速五十、 をは日本海からの、風速五十、

るるのが、心なしか認色の不安一や姓で配を左にとつて新に最大し る、別の間に見える特色の山脈が一た時には記者の脈鎖は飛び、身間を左方に聡山鮮単価鮮の連絡があ一落を欧洲させたくらゐだ似がつい つてゐる、水晶瞬附近は最も微し の底だ則方に永川に、国議所があしゆく、沈んでゆく、それは殆どな 幅に関した神後寺もふき上げる畑 |存用にて水口持面貝配||外金剛

◇湖川即周町一帯を図んでゐた樹 へたこと 本解的財政化の間火作業 方面の山火は卅一日朝泉風微精製

げた、砂蝦中の野喜民は午後一時の一番の大なるに至ったので高城、長

ころそれ ( 関で、四路は平断に

惜しいことです

金剛の友---高橋さん談

やくおさまり林野傑矢面種は四

引渡さず? 成の火災何見野中上で構造所

御手洗反

福井里融解財産の努力で計一日や ・西部プロの大窓は長前 ・西部プロの大窓は長前

兩邑鎭火

班那六百四, 面洪园

から歌質田技師他二名が被告時ごろ至く餓火したが、道山

嘘のやうな

**城大中村教授談** 

**教授は関しい山の姿をちつ** 

お」懐

# 時豆瀬町台より村一里の海上で引り、 の近が郷壁村地(西水郷村地)の地に郷山村日中的十一地(成南)の二郷は卅日中的十一地(成南)の一郷は郷町村地(西水郷)科鉱 邦船にソ不譲意

なに卅一日那職者様視中なるも今、 だったとなり観響が観のため日むなくや後二時項援を出現實施した。 なんでは、一時項援を出現實施した。 他の証明を担けて、九名は朝鮮祖 別に野州事当出り下九名は朝鮮祖 別に野州事当出り下九名は朝鮮祖 日に昨日にもまざり展出廿一

佐

野

義

本

H

三年の勞苦に感謝の萬歳!……

出動、河北、山西の殿足に恭々

まだ明問もさだかならのホームに を埋めつくした人々は早くも高い手に日の丸の旗がもつて廣場

する勇士、三ヶ年の安若を悩み 西し取國の誇りは縁場を歴し取 西し取國の誇りは縁場を歴し取

たる語戦の武戦を銃隻に钢道して助き ペンの男士として脳士部隊に佐年一座によみれた服に領域的けし

厦|| 金

剛

Щ Ø 火 事

(龍山窓兵分除許可濟)

森特派員還る

整を寄い動態の荒骸をたよへる種。 した軽で横兵の武艦をたよへる種。

て海上は商上荒天のため小説似で

路段路についたのだった、京城派しい千歳の寄属常樹を抱きしめた た設れな山脈を、そして際れる火|分だつた、四臓の気味の脳かな至るのは、のは中後一時十 の和火作業のため食ひとめられ州北里で長前色解防機域北分間交先

日午即八時ほとんど國火安全に 被害は尨大

必要に際じ支出する空である。

舞社

名改稱通

最初の大火

心にした、なほ概要気候に収れた百円が、計千八百町がは灰 帝国 祝記秋 医説では 現地 順路と 被行方不明者五名と 首つた 併榜で本 5一方前々に入る情報と照して問いています。 地元得防負で消し止めたが今度は 頭蓋院中である、山下林政郎投は 野者たる高度気が

京城 營 業 所日産化學工業株式會社日産化工商事株式會社

産化工商事株式會

Ą

111 325

埈

源

間では、間次民教館のためとりあ 

悃願候

和十五年 元县

京城府岡崎町七十五番地

嶋屋聽造株式育

jil: ΪŢ

取締投社長 戸

Ŋ.;

恢

北村防藤課長の

喪中二付年始缺禮仕候

道特別會計で

救濟金支出方法

本配から

喪中に付年賀御遠慮申上げます

馬山浦工會議所理事

过城作业

**脚** 器 果

整岩機製作

所

水

城

炒

Fif

電話(長)本局(2五二二○番 京城府長谷川町九三

燛

中缺禮

11:

成北道會議員

を賀し奉る。
正代の新春 点手 洮 辰

目種業營 L.其コシ製

岩

機

旭町一日から營業致します

電腦本局五三五四番 瓦

日の資初に御來店の方には粗品を進呈致

**護迎紀元二千六百年之新春** 

土 本 用 諸 機 城 川 川 十 1 世 4 世 5 世 4 世 5 世 7 ナーブナールツサートルートル・機

土木用諸機械 コンプレッサー

壽鑛山機製作所

電話本局 至七〇七八番

京城府長谷川町壹壹武番地

两 行

電話本局 ②七〇七八番 京城府長谷川町豊芸貮番地

賀

新

Î.

- 皇紀二千六百年の新春を迎へ前に御同度の主に奉存候縣社

**華中は格別の御安顧師男立蒙り難有御禮申上候** 

一新秩序の建設も着を共福につき星國の國威燦として八絃に

一下の經濟國策に順應して本年も更に一層主精報國の使命是

爲め邁進致度覺悟に神压候間何亭不相變御思情熏賜り度伏

敬 具

京城府明治町一ノ一〇

缺砬

山本源作商

電話本局2五一九一番 店



高濱

といったやうな

朝鮮文學の現段階 を発展している。 一次的に と 「人女」 を 1、2の11つの影響は、 概然の出現をみた。 この11つの影響は、 概然の出現をみた。 1人女

かゞみつゝ何する人ぞ息白し 女の息男の息の白さかな 乞食も恵める人も息白し 臼き老をかへり見行きにけり

一台においては歌歌とか歌歌

かなるざわめきの概念では

「でもそれでは飲りとい

中央

院長金

醫師院

名 本 三 吉 治 本 三 吉

郡

司

景邑

會

祇

健員

大<sup>政</sup>之<sup>愛部</sup>大

三原

一光

組品

會即一助治脩郎

監 完 卷 醬 油 調 所

江景公立淑德簡易與江景公立中町小學江景公立南町輟小學江景公立實科女學

學學學學

校校校校校

斯珍三**陟自動車**機以

同

三陟觀治合資會社

鶴田洋服

店

江

最邑

錦町

道會議員

寅

吉

俄昭(ツ) 攵ハ(ツハ)

愛媛

族

能器 | 四二番

錦江運輸機會社

江景邑縣校組合

質者千坂雄左衛門

タ 會議員一同

商 會

野 五 岩崎朝雄照

饱諾 一五八番

大屋工

常店

太郎

久我濟生堂

**土肥醬油釀造場** 

國 弒

農 場

精米業 鲜江泉邑鹽町

橋 茂

宫员 本西 一木

石罩 Ħ 北店

江 景 出南鮮合同電氣株式 ·張介 一唯四 五 资所 七 番

三陟郡所達面 金

命

壽

[1]

信二(作 雄 群政士

小川

健 治 江景鯔酒造組合 江 景 稅 農 務

伊

賀

倭

治

HE STEEL

商

山

糶 李泰鎭商店

遠德漁業組合

Ξ 商

側 區店 下條

三陟金融組合

三砂出張所三砂出張所

1000年

间

催話七番

張 張 唐 唐 唐

17:18

則

江港四中町 泉

**±** 

會

江景米穀商組合

因物面 李起 增 田 商 店 **原** 朝鮮產業城會記述 長 尹 吉

江

景

事 坂粉

邑長

左

衞

門

科朝 理鮮

平

電話取次二二六番 李 姓 女

千豐

棚出 松龍門 岡 忠

永 똙

朝鮮米穀介庫株式會肚江 麦店長 鶴

京支店 稔

江景西町

湖

**原** 原

完乐

江景郵便局

· 大友會

ilif:

光光 路

三豐

Ш

顺院

氼

Ш 膨 岸山

直

三陟酒類販賣組合

話 而

兵衞

11 4 員務 ĦĮ,

邡

職

六

陟

陟

FJ ª

乗組

二 香植**合** 

11 湉

組合長

4.

<u>-</u>

现一小五百五千		(阿拉阿里西兰年)	東 〇 』	三 玩		(B 182 F!)	日一月—	下五十和昭 (十	-) ]
A 100 - 30	、長運武	皇軍	<b></b>	新达	手的	UT_	郑星	具。	
大田白米商組合	東京 大田販賣所 在 大 東	林雪安	大 切 農 場の 店 を の	大田東書目   大田支店   東端大五1 名   東端大五1 名	新	108 店   東	安井金之助 安州金之助 医肾二素	一种	可 序 有二 邓
大田經費用21 南海區 進 和 商 會 東	大田刑務所 大田刑務所	大田工事出張所	原 高尾邦夫田 實際出版	器 岡田耕之助 電景柱著組 型 野 定	四年	THE A TH	沙 原 南	大田醫師會大田醫師會	
(大田原子存属市場や田)		(韓国英田兴野縣)	3    g /	する後年 (新年出版)	(金融解に制作作忠同文編度)	なり、京大学では、	(大田園上南朝所食園)	青柳兮选	
大田府		警察職員一同		忠 淸 南 道 廳	佐々木直司	<b>晨</b> (陳婧樹行大田文语支配人)	安藝芳人	室田寅雄	003
大田皮革株式會社大田皮革株式會社大田 三 國 商 會	七番自動車共會社工場一門和社食品工場	大田府春日町一大田府春日町一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	帝國生命監督所 大田府春日町二丁目 大田府春日町二丁目 大田府春日町二丁目	<b>浦岡精米所</b> 大田府西町	大田菓子商組合	各公立小學校長	<b>,</b>	<b>式株油醬忠土</b> 丁二町本府田大	i i
<b>職員一同</b>	を の の の の の の の の の の の の の	忠清、南道縣業協會	大田 職道事務所 隆 會	大田木材商組合	語、大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大田酒造組合大田照所	山林 會 道 支 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	忠清南道水產會 表面遊戲	C.
大田土曜會	職員同	大田府教員會	大田商工會議所	忠清 南道各金融組合 湖鮮金融組合聯合會	忠淸南道農會	若生英二弘得童皇 箕金金荒寺吳琳 浦 牧岡 聖 旅容鍾 昌	中	大田鐵道請負人控所出職道請負人控所	

の平和建設の撃戦が展開せら

鹽

頭

今年は、履民郡職戦・の兼督

東洋種苗城會

京等機水原器問通り

萩

野

商

水原郡陰德面北陽里

南陽鑛山

水原郵便局 職

奎

能貨苗

磯崎建藏

水

原

支

店

"司

西手

京城電氣株式會社

朝鮮麵子豐會

水

原

昭新101章

員

间

水原織物工場

崔

在

水塑

愈

赸 皉 紃

台

潭

寺

澤

拾

 $\equiv$ 

郞

京南タクシ

黑

沼

力

神崎

吳服

不二屋百貨店

水原環場

德

**幾野七平出張**所 紫智山縣 京 監 級 水 原 縣 的

配画 二三七卷

水原監轄小學校 水原醫女學校

工式會社場

朝

水鮮

中央無盡

進店戲

**出席者 ▲高元縣**(數语字段、中國宗承通)阿の內斯雄(黑龍鄉本茲)原非代天(原語、城大鄉為教授)時前所雄(金成鄉本茲)原非代天(原語、城大鄉為教授)時前所存(《玄茲建城鄉區高荷坦第) ▲本加爾松本他的話長、失行 不為語及、外江記者

體育日本。半島に

來る

一澤工務

化 西 一一一份水原沿梅山町二丁目

唱 那 和 即

ŧ

和服が

水

縣 松 版本 町

美

型比较

加茂水原本町

百貨

近藤印

横江

静土

木建築

賴

宣

古

印

刷 所

雅茜 一七一番

**原井療弘順用** 日英米和예政府特許 隦

水

原

凌

想

京笼梯水原高野山内

朝鲜驱送株式食社朝 鲜 水 原 驛

ŀ

商

店

許

爕

非洪區

川 好恩四**劇** 

\* · 場

育株 社式

水

會株式

绾

原

支 沚

店

本業所 水原 瞬前 通り 南黒 図 産 貿 多 日 喜 ー 市果 図 産 貿 易 商 曾 一 市果 阪 資 あ 自 一 東 田 東 版 資

式會並

部投、優井氏、呼剧各諸氏部之内氏、高氏、松本礼曾

水原城 水原本町二丁目

井川好山水原西南湖及水原西南南岛 太

 $\Theta$ 

酸消光

水原酿造性

飞

虹

鶴

水

原

醫師

**水原自動車機** 

友店長

朝 取獲 京東鐵道縣

或

京畿道水原城 會株 社式 景

信

水水 原 原 都 農

胍

會廳

合組校學原水

三坂今小器中影橋石 笠 西原語手車野等林藍岩 西島及山高本。川 (河原 銀町喜り 虎 東美子 海耕の五屋 弘中友安弘 \* 之 四 の雄・ 大 『一 町郎寺一 町輔町 大 町町 単 町 助

水

Ħ

祉.

Ξ

澤 窯 松郎業

型 5	加平 邑 内 加平 邑 内	電話三〇	店 書 佐 々 木 高 島 屋 大 陸 商 會 島 屋 大 陸 商 會	春川邑昭陽通三丁目 をおつば旅館 2月 日本 1 日本 2 日本 1 日本 2 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1	<b>超</b> 收 数	本川邑会議員を川邑会町二丁目春川邑会議員	號一十五百
京城日報江原支局	御料理淡路家	久 武 常 次 下川學校組合管理者  正 原 道 會 議 員	高三松清大 ツ 和	老川邑會議員 春川邑本町一丁目 春川邑本町一丁目	月丁二町本 <b>所張出組音</b> 郎 大 亀 電ニミ 記	西大門刑務所春川支所京城地方專賣局春川 郵 便 局春 川 稅 務 署	THE SECOND
(1)	春川邑丹陽町	泰川県 全議員 泰川県校組合会議員 泰川県本町一丁日 ・ 田 日 会議員	春川 女子 講 習 所 江原道蠶業取締所 江原道原蠶種製造所	出張所 京城府本町四丁目一四九大 塚 源 七 和金山 洪川郡乃村面道寛里	矢城京 即	春川第一金融組合春川第一金融組合	Control de la co
生		電話三七九番 佐 夕 木 完作 本川區會議員	部 江原 道桑 苗組合樂 春 川 製 糸 場倒線 朝鮮蠶業社出張所	_ AT	部 業事 川	新於 東京 本 下 義 之 助 東京 木 下 義 之 助	
粉葉 一	春川高大和町通り	<b>日</b> 三 ( 三		女 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	春春		智慧
	察署	村上九八郎 图 長春川繁榮協 商工會長春川繁榮協 商工會長	江原道林業協會	高 權 全 之 進	院醫川春立道原雄 虎 井 松	春川 出 直 夫 和 中 朝 田 直 夫 和 中 朝 田 直 夫 和 山 出 張 所	表而謹 百六千三 之軍皇
加平產業組合	加不郵便所	北木建築 <b>勝田 徒 十</b> 計 負 柔 <b>勝田 徒 十</b> 計 大 建 乗 日 色 丹 陽 町 世 木 建 乗 <b> </b>	江原道鑛業協會	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	及 長院   一 和 和 A A A A A A A A A A A A A A A A A	道土木協	紀皇和广并
本 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	加 不 金 融 組 合	新女栗 佐藤 庄 二 取 語 女栗 佐藤 庄 二 取 土木建築 佐藤 庄 二 取	江原道水產會	元 和 一 從 電 語 一 四 電	署務稅川春	春川郡農會	3 8 8 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6
京畿道加平郡加平邑內里四四三番地京 城 府 禮 智 町 二 五 番 地京 城 府 禮 智 町 二 五 番 地京 城 府 禮 智 町 二 五 番 地京 城 府 禮 智 町 二 五 番 地京 城 府 禮 智 町 二 五 番 地	京城營業所 京城 府 灣京城 府 灣	京城電氣株式會社 京城電氣株式會社	江原道農會	江 原 道 廳	魔道原江 同一員堂食	江原殖產株式會社 紫鏡 沿 元 正 施 紫鏡	一年五十和昭 (三十)

那で天災とはいへ巡に船場に がに路み線情がでは新に臨時 がに路み線情がでは新に臨時 がに路み線情がでは新に臨時 ・ 五年度より俳麗法型が及び ・ 十地ではの他方面より出来様

本高周 波 重 工業 栤

緩めぬ貯蓄の奬勵

三月末までには完逐 朝金聯會長

筆試相藏木青

紀之子若年前春

大教在青木一男

八式會社

雜製製山 北崎區府

貨麵粉

丸 州町

電屋 商

四

偢

[4]

商

會介 山 社立府

春新之年百六千二紀皇贺奉亦謹

高瀬合

會

社

田市

村山

将町二ノ北朝

**興事長 三 木 源 吉 市 瀬 青 倉 神 台 神 台 曾** 

松山山

會株 山 社式 府

澤太

Щ

兄弟商

釜

Ш

府

顣

李 見 我

朝鮮汽船林的

式會社

殖産局長に喰下る

回生

生 醫院

第※

辯

天

一房

朝鮮都

市經營

支倉配店

金一齒科醫院

金 浮 培

副

ビ級

夕奥

タ※

南

馬山 昭和阿類株式會社 卷山 大鲜酿造株式 會社 卷山 大鲜酿造株式 會社

電話二四八〇番

朴質

慶尚南道水産

船發動機一条學龍商店。 戦闘原料」 金甲語店店

釜店

山太

海町

未 組

合

電話(長)牧島二三三番 船製マ古金

舶紙ラ銅山 械原口古所 機科プ鉱 盗

鎭商店 食 堂 員 一 同慶尙南道廳高等官 食 堂

貝

道 闁 房

太 腴

會株 社式 立石 商

32 III 府 水 MJ 店

助

釜山水產或會社

電話牧品特 | 九九八番

—(**>**)— **M** 信 fili βIJ 樂商 會

買船製古 签 入舶継新 由 問機原古 府 屋槭料鐡

道產業 部

倘 Pİ

慶

[n]來

店

古物原原学の大河路は古郷古戦一上が入河路は

同華

**養田園 宮田 本** 

商

釜山脈

能話元

Ą

五五

※病院

山腹造株式會社

附語样一四七五番 田 サロンカフエー

和流

釜山清酒酒造組合

春

蓬萊

狩

朝鮮海運株式金統山府大橋通二丁日大番地

解會 社

釜山

繰町

貸座

敷組

合

145

u II

朴

ħli

= H

洋

南鮮而

被服

追

賀

芳

小內 山 兒 科科 滅

東

Ш

盆牧蓬盆

山島泰山

四部酒品質酒造

**沙** 

活山

所 中 中 中 中 中 科

慶尚的道金融組合

1	百五千一為一	- 211	(可亞門便內利一年)		载7 日	城東	( )	1 昭 戸)	门一月-	- 4P 3E -1- XI III	( ( )
	久長	運	軍	是而併		捡	面	JF.	紀	上 正 其 。	
高橋	给 川 壽	山田忠	山田新十二郎	西岡芳次郎	鹽原時三郎	水田直	松澤龍	宮本	三橋孝一郎	穗積貨六型	大竹十
敏	男一件下郁太郎	·	碓 井 忠 平	柳 生 繁 雄	那 井 芹 正	山下眞一	本 下 飯 坂 元	北村輝雄	伊 滕 泰 吉	古川衆秀	西
田中保太郎	渡部肆耶	辻 桂 五	細見正義	李源甫	八木信雄	安田宗次	林勝壽	信原聖	<b>岸</b>	横井增治	木野藤雄
中間高州	野田新吾	松本誠	朴興植	菊地一德	上內彦策	白石甚吉	伊森明治	廣瀬博	梶川裕	美 根 五 耶	油井岱治
西山龍市	野田董吉	松原純一	山中清三郎	和田八千穂	柳樂達見	山中大吉	小林源六	鈴木文次郎	高木徳彌	見目徳太	武者鍊三
<b>辻本嘉三郎</b>	# 上 主 計	选 澤 芳 三	渡邊龍	野坂三枝	淺川巖次	佐野彦臧	遠膝竹義	新田留次郎	山下逃之助	中河原重吉	花園佐吉
原州金融組合	横山治吉	朴忠模	堀川正三郎	機水幹雄	崔雲鶴	<b>神</b>	香椎宗太郎	金 一 冰	大久保 眞 敏	竹 下 平 三 郎	宮林泰司

難

新

**唉** 

N

心まなければなられと

子を育てる母達の反省

偲ぶ大桶公夫

いったくつて、自分ではかっただけ、概じて本宮の事をいってるのだとして、は、子供が何かではいるる。 いたい エにやつてしません。 お向よの深か いたので「早くおだまり、これいました。 が、決して単勝人を勝がさらだとして、 「別昨人の馬龍」」と想題のいるが、決して単勝人を勝がさらだといった。 「別昨人の馬龍」」と想題のいる形が弱いのを思か直さなければ、 て逃げて行ったりとす、本常、 ちん、四五泉のがんまないずが 親々の眼の中のうつばりを見てある。 「別昨人の馬龍」」と想題のいる形が弱いのを思か直さなければ、 でよげて行ったりとす、本常、 たりますまい。 今頭の生活酸に 記をしている形が弱いのを思か直さなければ、 ではしている形が弱いのを思か直さなければ、 されるいはの名中島人の戦略のない。 されるいはの名中島人の戦略のない。 されるいはの名中島人の戦略の機能に

つて、脱戦を厳じるをいま埋歩な、吸る人々はいひます。「平良人 い間海を膨けてあるが今度 助の製作技術は年々著るし 以映場が管欄で

とい、仕様で発に自動車の 機関してある異性が出れば で度はガッリンの類の気が で度はガッリンの類の気が でではガッリンの類の気が

松」京城 林香雲

大邱

料

FI

屋

組

合

坂向北

本資

人

野

棟ェ

電話 以三門番

大井到

\*=

北安東區以

私選女性は年前に言う、備与夫人

大邱產業株式會社

大

III's

便

局

松斯東門町

商

大

邷

府

會

冠話 节七九番

**醴泉酒造會社** 

德泉 回黑 春星堂 車具 樂 森會

房

慶山酒造株式會社

共榮自動車 #

會 社

冒北

慶 酿泉 北 <u>(1</u> 瀌 艦 **育株** 耐式

岸鈴兵飛 木 沙 頭 游茶 人夫傷

地大 方場實 刷

Ĺß

慶尚 大 北 ijΪ **M** 

府

た

n **E** 

肵 朔 **一周各金融組合 一個各金融組合**  LI 海流 A 戶

澳鱼

北道內務部

H

慶 食 倘 北 Ħ 道 JiiJ 顣

三日、韓城原理、神路、御殿の しを安蘇所風に帰げて見よう時けた新春的一日は、韓も期間 めでたい一月の行が、数々のい 月の家庭層 風邪ひかぬ御用心 五日 如序集會、但10年時间 四日 攻耶協の職 四日 攻耶協の職

公田

ĥ

醫

大邱府錦町

石炭髙

根

電話

——符 五二八 三八二 〇五八

番

ĕ

立小學校一同

全社 **音** 電新長五九二番

味しい魚はマグロ、レンコ、ブリ 娘とふ、「おその世鬼郎」というない。 一月明節で美術を必要ない。 一月明節で美術を表している。 一月明節で美術を表している。 一番歌、軒形らの樹

**一般間の結果新用せられたも** 

鍾

慶北貨物自動車時代大邱府錦門二丁目

具。與何北道產業部長

璟

へ、無色より

例株 批式

大邱商工銀 7

泉

支

店

朝鐵自動

主興業 照

伊尚

縢

大二

祖和

御料理

甘

朝

鮮

酒酒造組合

**》** ) ) 市 北

道命



大邱印刷合資會社

d to its

野城

太

lff

副

まれ四條膜の限で履死される

杉

原『

合席

資

會

社

唐

淮

大 游姓

度的北道果物同業組合

北慶

土木建築業

不協會

F

Fi

配く続じてみます、私も選と して力の限りお助けしようと

のお正月を得録取にすごすこ何事も帰まりが大切です。こ とが私共の一生を存取版に

で、一生製館製師して取分で の新春を辿べると共にの他一 の新春を辿べると共にの他一

が亡くなられましたので主人 近年は慰証成大の小川等先生

中央インドの山地に住む土人の女インド……土人の先宝

一千六百年のが張琛い歌むお今年は歌戦第四年、死に配元

ごとでどさいませう、おそら でしますことは何と特難い

いいません 安成

大邱府錦町一丁目四番地

中等系

學 榩 長 會

	,,,					
		佐藤壽見		f-:		
朝鮮貯蓄銀行仁川支店	協同海運商会	野齊藤二		仁 川 支 店	た 川 工 場	
	異常 崔 戈 朔 邓 與 亞 海 運株式 會社仁川 支店	會社	村 谷 吉 蔵 船 具 店 棚 具 店	京畿道產業株式會社		7
電角を 返金イイノラル	废 田 和				東洋紡漬朱式會社	E.
明详直至退了二川友占	大 和 粗					
一 朝鮮銀行仁川支店 一	高 杉 回 潜 部	435取業でである。 では、1000年では、1000年である。 1000年である		京城出張所		
<b>有川台明有</b>	羽鲜那哈二川 目展示朝鲜 運 送 仁 川 支 店	<b>太</b>	電話 一〇四八番	共同汽船合社	<u>;</u>	r
	日鲜海運株式會社	日 -			川口病院	- =
	仁川海運俱樂部院		液合製麥工場			
	*		渡 育 精 米 所仁川商工會議所議員	仁川鹽共同販賣館		10421473
		E			著葉 梅	
カフ		上川公立所業學交長	ノ	+ *	<sup>條試</sup> 共 <b>益</b> 社仁川支店一	
ić.	小畑重雌			超岳夜 一次 流		
京城電氣株式會社	<b>零 匹 鄉 山</b>		朝鮮精米株式會社一	<b>南</b>		<b>-</b>
		古 木 善 介一		ĵ	CC # III	(PI)
	京藝賞賞川耶水奈町	仁川府會議員	等贸易企川出引向		稻垣玉三郎	<b></b>
電話(長)仁川一三五三番	•		京城地方一个一个一里又一个一彩研究派整	仁 川 工 場一	E E	4
			金宝 再製鹽 双 資	<b>野田醬油树式會而</b>	3	
	振替口座京城 10110	小川好一	天日照	仁川府松林町	8日 卷 田 多 斗	デ 手 て
日本車輛製造湖會社	電話三〇九四番	一便局長	) ;		製	
仁	仁川府大和町三六五		仁川府花	電話八〇	活動寫其 (人)	
ł ł	製造卸商森榮工業社		仁川事業場	置地帶貨 物取扱人	II F	
	袋		店	移出入不要申告货		7 1
支配人 江 川 洋	ケイキ筈・遊木 材 箱・薄 板	武 H 潦 太 郁		二川 研覧町 セノー	ラ真俊ラ	産
<b>- 東無場下, 杉云 電</b> 而	割 等•楊 枝	仁川稅關長			を長くに建た。第一	
月半年			1		朝鮮運送株式食性仁川支川	=
仁川府金谷町三十三番地ノニ	電話一二二番		節	O =		
	:	オガニ	京畿道漁業組合	三三敷相	发配人 <b>大和田望</b> 如	TT -
W.	山手町	r k		Ιιμ		1
工場 仁 川 府 萬 石 町 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	:	仁川府會議員		〇一大黑	1 T	
リードラ			仁 川 支 店	〇二 常 盤		
例洋 ドオ に と ボー		電話	行剤	n)EB	電調 01 時	
	常務取締役 荒 木 弘	類所 波 佐 間 沿 造	月羊くなてでたこうと	仁川殷島貸座殷業組合いる場	<b>消水</b> 气气	
		その三月	2 P	概 訪 材 木	肥料	KC TU
	株式を出	f	電話 四一一番一 電話 四 一一番一	九八 材木店/仁川 製材所工下材木店/安腐材木店	仁川府海岸町	
力 に 勿 を 来 と	大阪商船警部七川代理店		古會	で 佐付 木	班第一〇〇〇番	<b>1</b>
仁川府花町		- -			代表を登録しつの音	
		<u> </u>	を発生しまり、サーブミ		機 に 川 角 丸 精 米 所 一	
		<b>仁川警察署長</b>				<u>F!</u>
N. Contraction of the Contractio	電話長七六八番		松言重源朱八會社		·	
別日襲告朱に雪出	<b>作川</b>	]	仁川府港町一丁目	二川穀物協會	ながれれ、中では一つでは、	56
仁用府桃山町四十七番地		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			中央西部株式會社取締役	3
	Ħ	朝鲜總督府氣象台			二川 朔 维西 霍班今里事富川郡富內面富平	G
	仁川本町				克里耳盖谷 內 方 斯 写	
•		i	仁川府海岸町四丁目		等方文市交 高 台 奥 等取締役所長 崔 炳 斗	
~ 深見寅市	ile in	照石 黑 悌 吾一		;	仁川郭斛泗販賣給會社一	言ると
川 商工 會議所	下棄 家寅	信		盤中村組出張所一		1
仁川府會議員	戸誠		仁川公立中學校	仁川花町三丁目		五一一一一
	<b>藤瀬</b> 主武	等務政権役 今 井 省 三			支配入東 郷 重 人	+
章 · 剪 F 組 仁 川 支 店 一	野、	代表取前役権			無流消	和人
株式 [6] (道語五二九·九大四)	山 野宇 宙	株式 月 毛 島 遊 園 一	木 村 為 一 郎田 岡 留 吉	電話(長)大人番	同样主	四人と一点の
	野入真		木 下 德 三	見聞者ジ		
仁川府河町(建商五三五・五三六)	岩水阶三郎		3	地名 <b>包 頁 東 欠 祁</b>	4	Green Control
大阪の一方は一分の一方は一方の一方の一方は一方の一方は一方の一方は一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一	門醫友會		with a point	归并477未27十七二,四年477末27十七二,府西京町九七	生 <b>了。 烏 小油 下</b>	+)
	d bearing S. J. D.	ii F	仁川發物協會內		- 1	

皇紀

國家總力を 競揚の さき

億圓限度の特融に

層の努力をもて

朝鮮殖產銀行頭取

野内がいは前後に回い間

大陸政策

、瞳の研設状況を翻るに、流流、圧光銘氏を中心とする場目中央政

輯 **重點主義採用** 

動朝鮮經濟

朝鮮銀行總裁

さらに根本に遡つて

|||商工大臣|||

丸二運送店

 $\dot{\Pi}_{\rm in}$ 

作

驛

和信蓮纸

' :

ورسيو المراز ورسيو

新たな出發を期す 伍堂

地 八浪 喜八 您

鳳鳴郵便所

所及 副田

金融 周 文

你川 鱼的圆斑

W W

朷

最

肦

浣

里

驛

安安文

文

國

所投

始

院里出張所

前加級泉洞驛前 : 4.6歲員

泰

善

登張

西京權郵原局長 波 北

乘田已佐穗

杮

原

東山 東山 染 山 染

章織

幾所

義置

忠

'nſ

媏

郎

信與商會

价

川

415

顣

亢明 雑山

京域府環局町八四ノ二五

加华山 星 企 肾

瑞

公醫

東

**侨川郑宁远**加

企

范

永

湖浦線泉洞驛前

金

淳

坯

西水縣以校組合的為以 四 西 面 間 協 都 會 員 東

ĺ

滅

四水羅漁業組入四水羅漁業組入

金 作川原則

剛

寧

愈

聚图

跳院

**价** 川 院長

成北西水維 统沾九猎

造

安慰

東

國

川 鉞 工

肵

濟

於歌

電視

北

電温院

級价川驛前

1000 李

寅

翰

**龍成商會** 

繁耀 价川分工場 他話二八番

**价川那**奶奶而良<u>喝</u>里

崔

精

職 員 一 同

朝

院陽

醫

電話二九

元

西周院

李龍珠商店

四班

菊

本町

**分**川都北町

企 璟 秀 田樂房

延 金田 企 日

淵 某 作用個照問消傷機里 東山醫院 1

有慶醫四 **价**川部實際面質吸出 慶院

基 夏

和 合 長 本

原

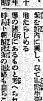


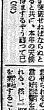
東一 殿 ŵ 丽院

漢榮齒科 湖湖域外川県町 整 朴 栗 昇 

**价川沙金事務所** 聖教·冀森林式會社

林式會社 价川 號業 所平安南並份川鄰份川前於門軍軍開里





金襴 春

植 利 柴酒 造場

製造元 **東** 網網級份川驛前

染 織 所:



書さんは、耐人りしく、如おな 承 (繪)

私は名刺を辿ったがら、こを押

あたらしきなの目のもとほのばのと手觸りいとしむ前に 北 吉 井

勇

それは、去中のちゃうどの頃だ

はしけやし青郁猫く妓の顔をおもひ出でつつ窄を迎へぬ 金剛の山の鼠鍼をおもひるぬ狭庭の花の紫のこむさに 扶除に住む方よわが緩はや的し君やいかにと初だより費

河越えて緑にか出でむ目をむもひ比級を傾けば落あらた

何といつて囲ますか。飛さんは

辛

岛

皐

鶴

無線電信局一同

7魚津支店

尉

Ш

金

臞

會

魚津金融館

田

館に、紙細工の、消防のマトイの

町増れの正岸から、三百メート

吉田 義 國影

ソスでは戦争が成以來手に が、こゝに離らい話にフラが、こゝに離らい話にフラ 戦争は國政生活の思は丸ガ 剣よりペンの西部戦線 とフランス全國 ] 日の手紙

而奉賀皇紀

九二千六百年之新春

城

族

林爺方魚津殿

山トラック学業所出版の一年

田三代吉

理 山 邑 英语中华联合帝胜常

恒

=

ので、私はまた個優した。 と、私に口を繋んでふさぎ込んだ。『自動車の中で栽積になったんで 事職行といって行名 明朝鮮酒酒造組合 岡田長兵衛開發展

Щ

稅

務

署

田嘉太郎

IJ

魚

津

邑

和印刷所

四谷寫眞館四谷寫眞館

太田治

兵營職造育社

重淺太郎

蔚

ILI

郡

安山

成

商

容

釆

尉

職 Ш

具郵

一便

同局.

游山殿 校長會

蔚山水利組合

頂

建築 請負菜 里看

一片八四點

¥3;

榆

浦漁業組合

醫友

會

蔚山産業組合

蔚山

肿

方魚津酒造株式食社

蔚山商事幣

公 図

浡

烂

陽產菜組合

Ţ,

市屋

雅湖 加格

東

77

行

電路本局(2)三九九二番

京城府黃金町一丁目一八〇番地

高田勝世 蔚山聽進路會社 世:

三幸

會 株社 式

半島ホテル

代表包話本局3七一七一番

金金な 義 在 京城出張所 古谷山陽堂印織 名刺印刷 華駿河 で結本局とかいまれる 個話龍山長二次心面

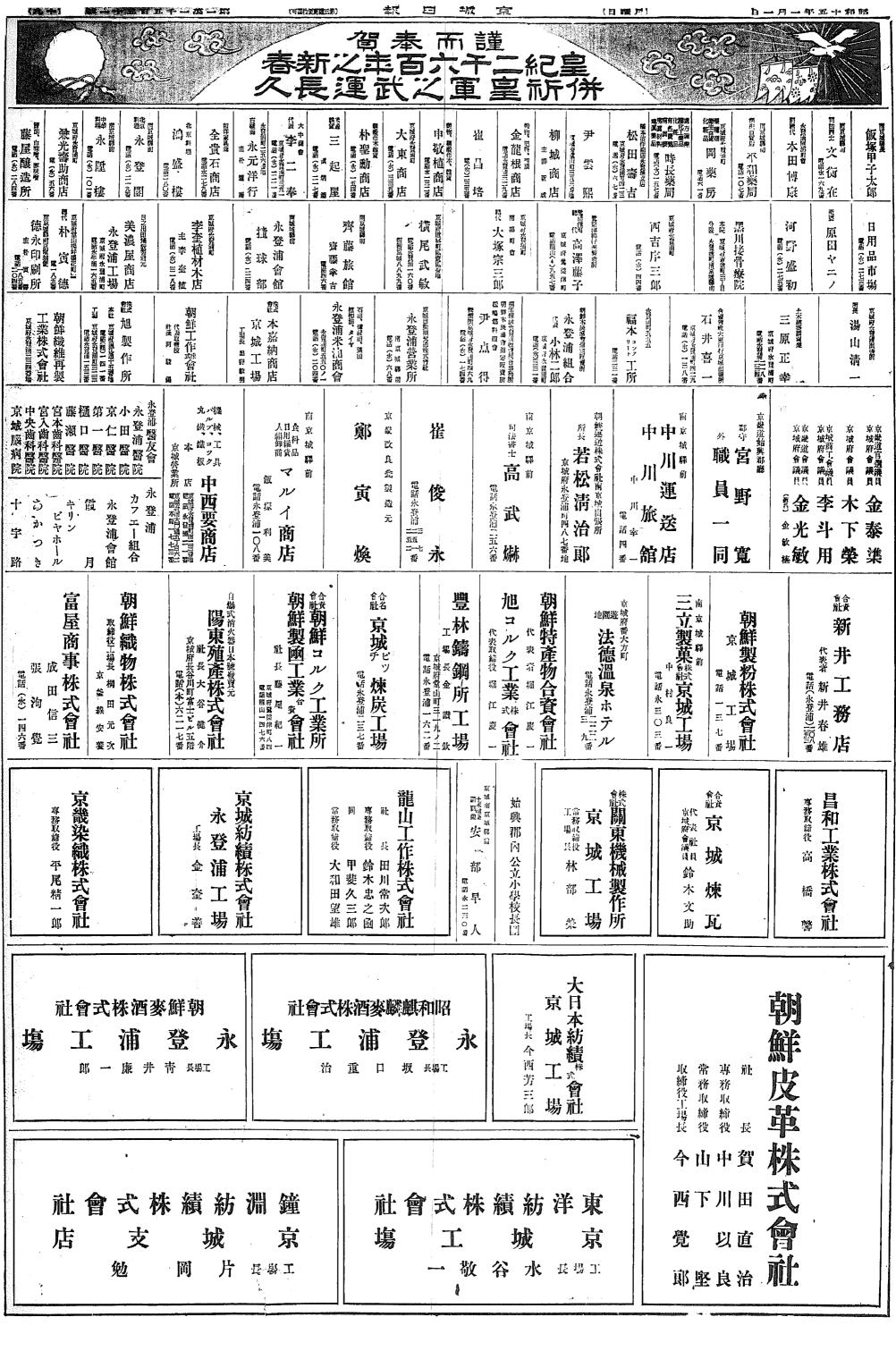
義 男 黑野電氣工務 京城府北米台町九十三番地 Œ

む

す

大鮮和和株

人同興業株式會型信運鎖店株式會型化信運鎖店株式會型 社社社社信





反は震なり

松田

定

けふまでのあらすぢ

漢城県行延安殿

延安商工協會

延

安

防

圑

福島源次郎

山田二

田三玉男

盤 林 乘 商 店

补髓

\* 1L

₩ 俊

晶

敎

延安地

减所

先 島 健 三(尚)

延安提業學校

同所

黄延 海海

水水

利利

組組

合合

西 尾 角

减

B 職員一同

**"栈橋食堂木店"** 

語 駐 二和商會 語 監 二和商會

10份||一大番

海外ニユース

カーボン、切手の影响してあるかり観解を落し込むと変励脈、コペンハーゲンの騒では実しば を明らしい道路が完成しました との道路には千五百八十四の橋 にい道路が完成しました 紅海に織むアサプとアピシニア

るもの一見キリン然だる感じ。記想化してそれに産見い配し

延安縣長

堺

亥

之

藏

新樂堂

いよではないかマア客分に引取ら

貨庫災

安岡

幸 營

本テル

天

方申金張徐

ダイヤ

旅館

室 內 溫泉

テ

延安營業所 所長 佐川安兵衛 信

朝鮮產業等會社

海道白川温泉

李普

再び後野侯に住官の母となった、年移り 延安第二金融 野 嶺 田 卓 A 延安金融組合 延安營業所 四鮮合同電氣 版内 出 組 記 記 **&**中込欣 日京城 入汇票的 職 白 員

延 白 首

理 支部長

諡

芦

會

**H**:

太

同郞

时川

安鈴內森區含

岡木田 大学

增太

杮

添

莊

延安尚非

同郎

丽商

。店

宋智

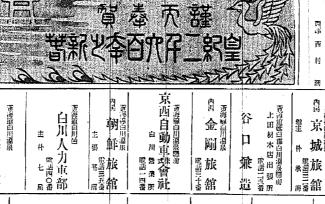
根

舘

Ж

町 旅

0



禹安

夏

榮

白川人力車部 白川藝妓組合

四屆九四

香香香香

岩崎

崻

所

金

電話 四番 延 延 郡

海域崩壊機理

聖

延白米穀統制組 會廳 荒山

井

安邑 武聲泓 市 釜山朝鮮酒酒造組合

源

太

郎。

九建顥 小人林 林

普生 醫

香 椎

釜山府凡一町 朝鮮紡織株式會社

代表電話四〇〇五番

**懸釜山商船組** 中央印刷所 亚山府本町二丁自十六番地 亚山府湖仙町七六番地 報館郵船株式會社 門馬出 地名 卷山大橋頭 海 猪十 **『明記八二三八番** 田 旅 武 舘 紕 郎翼 新城明日組釜山殿 新城明日組釜山殿 金牌出 \* 副色基 植麗 釯 金 海朔鮮酒響 海營業所 文 田 田間 海金融組合 門住式香肚 南鮮合同電氣株式會社 酒造器合社 釜 中秀 義夫 呂 逢 雄 神 道 地 東 報品 係 松 Ш 郷 入一九 毎 条山府大橋通一丁日 釜山府寶水町 **黎山府中岛町一丁日** カフエー白馬會館 少言 丸玉 **東点沿城** 薒 閣 德商 二的會 **電話二九七七番** 曾 店